

野村世界高格付債券投信 (年2回決算型)

運用報告書(全体版)

第13期(決算日2015年5月18日)

作成対象期間(2014年11月19日～2015年5月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2008年12月19日以降、無期限とします。	
運用方針	野村世界高格付債券投信マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界各国の信用力の高い債券に投資し、安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村世界高格付債券投信(年2回決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、債券に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国の信用力の高い債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村世界高格付債券投信(年2回決算型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク シティ世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2013年5月20日)	12,491	10	18.2	125.04	19.2	97.5	6.3	137
10期(2013年11月18日)	12,247	10	△1.9	124.66	△0.3	93.7	20.4	145
11期(2014年5月19日)	12,901	10	5.4	130.24	4.5	96.3	—	157
12期(2014年11月18日)	14,395	10	11.7	143.10	9.9	92.2	△20.2	176
13期(2015年5月18日)	14,590	10	1.4	144.36	0.9	87.2	△8.9	179

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*シティ世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）は、Citigroup Index LLCが開発した世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス（為替ヘッジを行わない円ベースの指数）です。円換算には、原則として国内投資信託の基準価額算出に使用する為替レートを使用しています。なお、設定時を100として指数化しています。
*シティ世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		ベンチマーク シティ世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2014年11月18日	円	%		%	%	%
	14,395	—	143.10	—	92.2	△20.2
11月末	14,723	2.3	145.77	1.9	91.2	△20.0
12月末	15,029	4.4	147.39	3.0	92.6	△19.9
2015年1月末	14,772	2.6	144.03	0.6	91.3	△20.0
2月末	14,763	2.6	144.10	0.7	88.8	△26.7
3月末	14,693	2.1	143.68	0.4	82.8	△10.8
4月末	14,621	1.6	143.78	0.5	88.2	△10.7
(期末) 2015年5月18日	14,600	1.4	144.36	0.9	87.2	△8.9

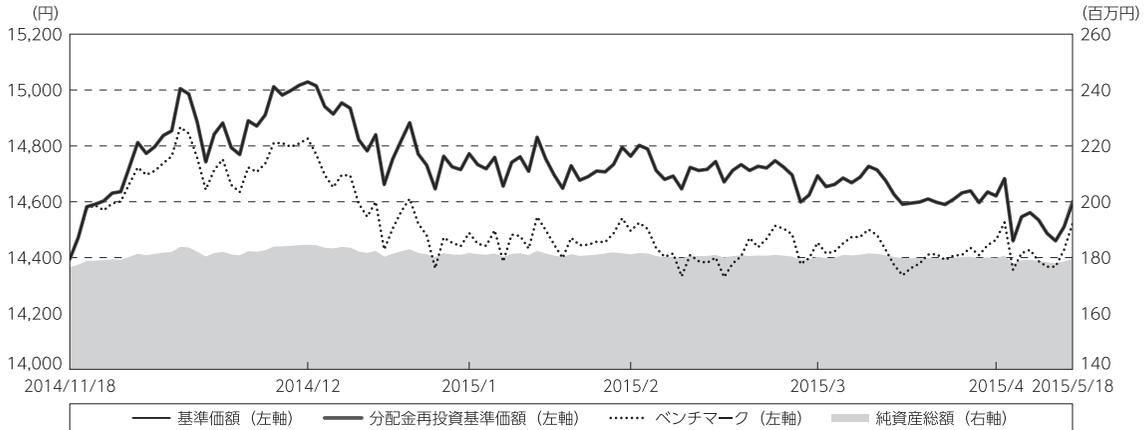
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：14,395円

期末：14,590円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 1.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2014年11月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。ベンチマークは、作成期首（2014年11月18日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,395円から期末には14,590円となりました。当期は、10円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は205円となりました。

(上昇) 期を通じて、安定的に債券の利息収入を得られたこと

(上昇) 先進国の債券市場において、金利が低下し債券価格が上昇したこと

○投資環境

債券市場<債券利回りは米国・ドイツ・日本で低下>

米国では、景気拡大が穏やかなペースに留まる中で、ユーロ圏や日本での金融緩和的な姿勢の強まりを受けて、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。その後、欧州債の利回り上昇（価格は下落）をきっかけに反転上昇しましたが、期中では米国の債券利回りは低下しました。

ユーロ圏では、インフレ率の低迷が続き、ECB（欧州中央銀行）が国債買い入れを含む大規模な量的緩和策を決定したことで、ドイツの債券利回りは大きく低下しました。その後は反転上昇しましたが、期中ではドイツの債券利回りは低下しました。

日本では、日銀による国債の買い入れなどが相場を下支えした他、海外債券の利回りが低下したことなどを背景に、債券利回りは低下しました。

為替市場<円に対して米ドルは上昇、ユーロは下落>

米国ではFRB（米連邦準備制度理事会）による金融政策正常化が意識された一方で、日本では日銀による金融緩和が継続しており、日米の金融政策の方向性の違いが意識されたことから、米ドルは円に対して上昇しました（円安）。ECBが大規模な資産買い入れ政策を決定したことから、ユーロは円に対して下落しました（円高）。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村世界高格付債券投信（年2回決算型）]

期を通じて、野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に維持しました。

[野村世界高格付債券投信マザーファンド]

<ファンド・デュレーション（※1）>

ファンド全体のデュレーションは期首から期末にかけて、短期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化としました。

（※1）デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

<為替のエクスポージャー（※2）>

期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ日本円と欧州通貨、ドル圏周辺通貨の比率を少なめ、米ドルの比率を多めとしました。

（※2）為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産に、為替予約等を含めた実質的な通貨配分の純資産額に対する比率のことです。比率が高い通貨が上昇した際には為替益が、下落した際には為替差損が発生しやすくなります。

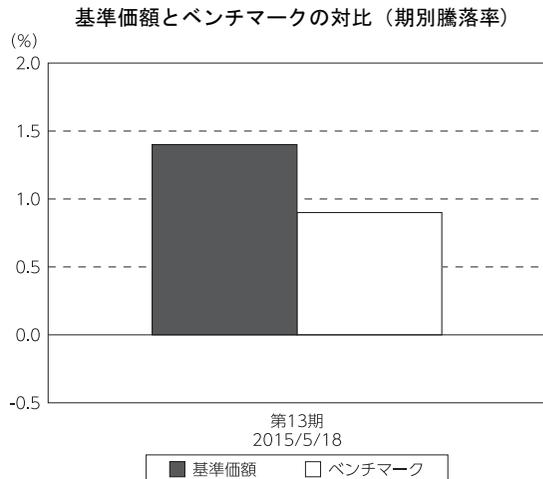
○当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額の騰落率※は+1.4%となり、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）の+0.9%を0.5ポイント上回りました。
※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）込みで算出しております。

（主なプラス要因）

債券利回りが低下する局面で、デュレーションをベンチマークに対して長期化していたこと。

米ドルが欧州通貨などに対して上昇する局面で、ベンチマークに比べ日本円や欧州通貨、ドル圏周辺通貨などの比率を引き下げ、米ドルの比率を引き上げていたこと。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。

○分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万口当たり10円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第13期
	2014年11月19日～ 2015年5月18日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.068%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,662

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[野村世界高格付債券投信（年2回決算型）]

主要投資対象である野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

[野村世界高格付債券投信マザーファンド]

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行いません。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行いません。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、製造業を中心に景気が弱含んでいるものの、天候などの一時的要因も大きいと考えており、FRBの利上げが近付くなかで債券利回りは上昇圧力がかかりやすいと予想します。欧州では、景気は緩やかな回復が見込まれるものの、ECBによる緩和策の長期化を想定しており、債券利回りは横ばいまたは低下方向で推移すると予想します。日本では、日銀の資産買い入れが債券相場を下支えすると見込んでおり、債券利回りは低水準で推移すると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では欧州圏を長め、米国を短め、日本をほぼ中立とします。為替エクスポージャーは、日本円や欧州通貨、ドル圏周辺通貨などの比率を引き下げ、米ドルの比率を引き上げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年11月19日～2015年5月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	83	0.562	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.268)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(40)	(0.268)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.002)	
(c) そ の 他 費 用	2	0.012	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	85	0.576	
期中の平均基準価額は、14,766円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年11月19日～2015年5月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村世界高格付債券投信マザーファンド	千口 1,549	千円 2,470	千口 1,900	千円 3,000

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月19日～2015年5月18日)

利害関係人との取引状況

<野村世界高格付債券投信（年2回決算型）>

該当事項はございません。

<野村世界高格付債券投信マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 199	百万円 56	% 28.1	百万円 218	百万円 42	% 19.3

平均保有割合 27.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2014年11月19日～2015年5月18日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 100	百万円 -	百万円 -	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2015年5月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村世界高格付債券投信マザーファンド	千口 113,920	千口 113,568	千円 179,415

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年5月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村世界高格付債券投信マザーファンド	179,415	99.3
コール・ローン等、その他	1,321	0.7
投資信託財産総額	180,736	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村世界高格付債券投信マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（497,849千円）の投資信託財産総額（694,550千円）に対する比率は71.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=119.64円、1カナダドル=99.42円、1英ポンド=188.09円、1ユーロ=136.68円、1シンガポールドル=90.50円、1メキシコペソ=7.97円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年5月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	180,736,253
コール・ローン等	220,609
野村世界高格付債券投信マザーファンド(評価額)	179,415,644
未収入金	1,100,000
(B) 負債	1,142,974
未払収益分配金	123,097
未払信託報酬	1,018,010
その他未払費用	1,867
(C) 純資産総額(A-B)	179,593,279
元本	123,097,286
次期繰越損益金	56,495,993
(D) 受益権総口数	123,097,286口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,590円

(注) 期首元本額122百万円、期中追加設定元本額1百万円、期中一部解約元本額1百万円、計算口数当たり純資産額14,590円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額160,975円。(野村世界高格付債券投信マザーファンド)

○損益の状況 (2014年11月19日～2015年5月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1
受取利息	1
(B) 有価証券売買損益	3,461,237
売買益	3,509,780
売買損	△ 48,543
(C) 信託報酬等	△ 1,019,877
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,441,361
(E) 前期繰越損益金	49,188,587
(F) 追加信託差損益金	4,989,142
(配当等相当額)	(5,876,732)
(売買損益相当額)	(△ 887,590)
(G) 計(D+E+F)	56,619,090
(H) 収益分配金	△ 123,097
次期繰越損益金(G+H)	56,495,993
追加信託差損益金	4,989,142
(配当等相当額)	(5,882,199)
(売買損益相当額)	(△ 893,057)
分配準備積立金	51,506,851

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2014年11月19日～2015年5月18日）は以下の通りです。

項 目	第13期
	2014年11月19日～ 2015年5月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,571,358円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	870,003円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,882,199円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	49,188,587円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	57,512,147円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	4,672円
g. 分配金	123,097円
h. 分配金(1万円当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ④デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2015年2月12日>

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年5月18日現在）

＜野村世界高格付債券投信マザーファンド＞

下記は、野村世界高格付債券投信マザーファンド全体(406,713千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	90,000	100,465	15.6	—	15.6	—	—
合 計	90,000	100,465	15.6	—	15.6	—	—

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*—印は組み入れなし。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
国庫債券 利付(10年)第310回	1.0	10,000	10,480	2020/9/20	
国庫債券 利付(10年)第317回	1.1	30,000	31,839	2021/9/20	
国庫債券 利付(30年)第20回	2.5	15,000	18,613	2035/9/20	
国庫債券 利付(30年)第44回	1.7	20,000	21,471	2044/9/20	
国庫債券 利付(20年)第115回	2.2	15,000	18,061	2029/12/20	
合 計		90,000	100,465		

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 900	千米ドル 937	千円 112,171	% 17.5	% —	% 13.7	% 3.7	% —
カナダ	千カナダドル 100	千カナダドル 109	10,860	1.7	—	1.7	—	—
イギリス	千英ポンド 150	千英ポンド 184	34,759	5.4	—	5.4	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	100	166	22,714	3.5	—	3.5	—	—
イタリア	500	606	82,956	12.9	—	8.1	4.8	—
フランス	150	183	25,148	3.9	—	1.4	2.5	—
スペイン	700	781	106,877	16.6	—	5.0	9.4	2.2
ベルギー	200	248	33,956	5.3	—	5.3	—	—
シンガポール	千シンガポールドル 200	千シンガポールドル 208	18,884	2.9	—	—	2.9	—
メキシコ	千メキシコペソ 1,500	千メキシコペソ 1,533	12,219	1.9	—	—	1.9	—
合 計	—	—	460,550	71.7	—	44.2	25.2	2.2

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 一印は組み入れなし。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B	0.75	200	200	23,992	2017/6/30
	US TREASURY N/B	2.25	500	515	61,642	2021/4/30
	US TREASURY N/B	3.5	200	221	26,536	2039/2/15
小 計					112,171	
カナダ			千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA GOVERNMENT	2.75	100	109	10,860	2022/6/1
小 計					10,860	
イギリス			千英ポンド	千英ポンド		
国債証券	UK TREASURY	3.75	50	56	10,552	2020/9/7
	UK TREASURY	4.25	100	128	24,207	2036/3/7
小 計					34,759	

銘柄			当期				債還年月日
			利率	額面金額	評価額		
		外貨建金額			邦貨換算金額		
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	6.5	100	166	22,714	2027/7/4
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	3.5	100	108	14,764	2017/11/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5	100	117	16,059	2020/2/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5	200	245	33,576	2024/3/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	5.0	100	135	18,555	2034/8/1
フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O. A. T	3.5	100	116	15,881	2020/4/25
		FRANCE GOVERNMENT O. A. T	3.25	50	67	9,266	2045/5/25
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.1	100	103	14,211	2017/4/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.1	200	224	30,651	2018/7/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.75	200	217	29,768	2019/4/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.75	150	163	22,324	2024/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.15	50	72	9,920	2044/10/31
ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	4.25	200	248	33,956	2021/9/28
小計						271,654	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	2.5	200	208	18,884	2019/6/1
小計						18,884	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	5.0	1,500	1,533	12,219	2017/6/15
小計						12,219	
合計						460,550	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期		未
			買建額	売建額	
外国	債券先物取引	TNOTE (5YEAR)	百万円 -	百万円	57

* 単位未満は切り捨て。

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* -印は組み入れなし。

野村世界高格付債券投信 マザーファンド

第6期(2014年11月18日決算)
(計算期間：2013年11月19日～2014年11月18日)

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

野村世界高格付債券投信マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

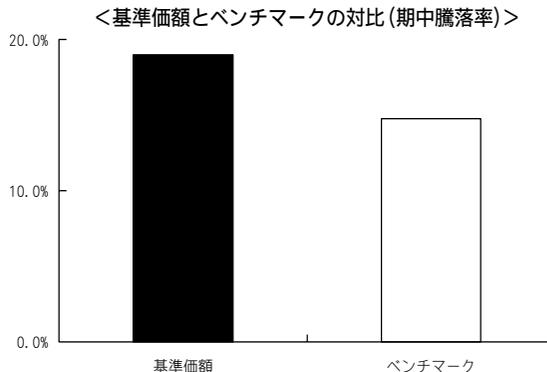
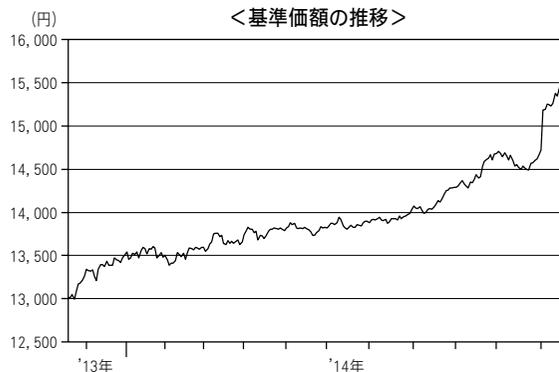
●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。 ①債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等(国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等)に投資を行います。なお、主要国以外の国債等に投資する場合があります。 ②国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。 ③通貨配分については、原則として為替予約取引等を用いて債券の国別配分とは独立した通貨配分を行います。 ④ポートフォリオのデュレーションのコントロール等のために、債券先物取引等のデリバティブを活用する場合があります。
主な投資対象	世界各国の信用力の高い債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。 外国為替予約取引はヘッジ目的に限定しません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1
<http://www.nomura-am.co.jp/>

◎運用実績



〈基準価額の推移〉

基準価額は、期初13,015円から期末15,488円に2,473円の値上がりとなりました。

○主な変動要因

- (上昇) 期を通じて、安定的に債券の利息収入を得られたこと
- (上昇) 米国と欧州の債券市場において、金利が低下し債券価格が上昇したこと
- (上昇) 米ドルやユーロが対円で上昇したこと

〈ベンチマークとの差異〉

基準価額の騰落率は+19.0%となり、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)^{*}の+14.8%を4.2ポイント上回りました。

^{*}シティ世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)^{*}は、Citigroup Index LLCが開発した世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス(為替ヘッジを行わない円ベースの指数)です。円換算には、原則として国内投資信託の基準価額算出に使用する為替レートを使用しています。

^{*}シティ世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関する全ての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

※名称変更しております(旧名称はシティグループ世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用))。

○主なプラス要因

世界的に債券利回りが低下する局面で、ファンドのデュレーションをベンチマークに対して長期化していたこと

円安米ドル高が進む局面で、日本円をアンダーウェイト(ベンチマークに比べ低めの投資比率)、米ドルをオーバーウェイト(ベンチマークに比べ高めの投資比率)としていたこと

◎運用経過

<デュレーション※>

ファンド全体のデュレーションは期初から期末にかけて短期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して長めとしました。

※デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

<為替エクスポージャー※>

期を通じて、ベンチマーク対比で日本円とドル圏周辺通貨の配分を少なめ、米ドルの配分を多めとしました。為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産に、為替予約等を含めた実質的な通貨配分の純資産額に対する比率のことで、比率が高い通貨が上昇した際には為替差益が、下落した際には為替差損が発生しやすくなります。

◎今後の運用方針

<投資方針>

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行いません。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等(国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等)に投資を行いません。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国では、足元で堅調な経済成長が見られており、今後も緩やかな成長を想定していることから、債券利回りは横ばいまたは上昇方向で推移すると予想します。欧州では、低インフレ環境の継続やECB(欧州中央銀行)の緩和策の長期化を見込んでいることから、債券利回りは横ばいまたは低下方向で推移すると予想します。日本では、日銀の資産買入が債券相場を下支えすると見込んでおり、債券利回りは低水準で推移すると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は長めとし、地域別では欧州圏を長め、米国と日本をほぼ中立とします。為替エクスポージャーは、米ドルをオーバーウェイトとし、その他の通貨を幅広くアンダーウェイトとします。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎1万口当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	0円 (0)
(b) 保 管 費 用 等	5
合 計	5

* (a) 売買委託手数料、(b) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
* 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◎期中の売買及び取引の状況(自 2013年11月19日 至 2014年11月18日)

(1) 公社債

種 類	買 付 額	売 付 額
内	千円	千円
国 債 証 券	64,581	69,798
外 国		
ア メ リ カ	千米ドル	千米ドル
国 債 証 券	2,576	3,090
イ ギ リ ス	千英ポンド	千英ポンド
国 債 証 券	216	265
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ
ド イ ツ		
国 債 証 券	52	—
イ タ リ ア		
国 債 証 券	766	715
フ ラ ン ス		
国 債 証 券	101	103
ス ベ イ ン		
国 債 証 券	637	431
ベ ル ギ ー		
国 債 証 券	345	286
シ ン ガ ポ ー ル	千シンガポールドル	千シンガポールドル
国 債 証 券	209	—
メ キ シ コ	千メキシコペソ	千メキシコペソ
国 債 証 券	1,529	—

* 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

* 単位未満は切り捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
債券先物取引	181	294	323	213

* 単位未満は切り捨て。

* 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

◎組入資産の明細

(1) 国内(邦貨建) 公社債

区 分	期 首					当 期 末							
	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
			5年以上	2年以上	2年未満		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	%	%	%	%	%	千円	千円	%	%	%	%	%	
国 債 証 券	20.6	—	20.6	—	—	95,000	106,905	16.9	—	16.9	—	—	
合 計	20.6	—	20.6	—	—	95,000	106,905	16.9	—	16.9	—	—	

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ー印は組み入れなし。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

国内(邦貨建) 公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
国 債 証 券	国庫債券 利付(10年)第310回	1.0	10,000	10,473	2020/9/20
	国庫債券 利付(10年)第317回	1.1	30,000	31,713	2021/9/20
	国庫債券 利付(30年)第20回	2.5	15,000	18,159	2035/9/20
	国庫債券 利付(30年)第44回	1.7	5,000	5,243	2044/9/20
	国庫債券 利付(20年)第115回	2.2	35,000	41,316	2029/12/20
合 計		—	—	106,905	—

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 外国(外貨建) 公社債

区 分	期 首					当 期 末							
	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
			5年以上	2年以上	2年未満		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	%	%	%	%	%	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
ア メ リ カ	24.9	—	3.6	21.2	—	800	847	98,799	15.6	—	15.6	—	—
カ ナ ダ	1.8	—	1.8	—	—	100	106	11,002	1.7	—	1.7	—	—
イ ギ リ ス	8.5	—	8.5	—	—	200	241	44,110	7.0	—	7.0	—	—
ユ ー ロ						千ユーロ	千ユーロ						
ド イ ツ	7.7	—	7.7	—	—	250	382	55,596	8.8	—	8.8	—	—
イ タ リ ア	11.0	—	11.0	—	—	450	525	76,384	12.1	—	9.6	2.5	—
フ ラ ン ス	5.1	—	2.5	2.7	—	200	233	33,905	5.4	—	5.4	—	—
ス ペ イ ン	8.2	—	—	8.2	—	500	555	80,627	12.7	—	5.1	7.6	—
ベルギー	5.9	—	5.9	—	—	250	309	44,894	7.1	—	7.1	—	—
シンガポール	—	—	—	—	—	千シンガポールドル	千シンガポールドル						
						200	210	18,910	3.0	—	—	3.0	—
メキシコ	—	—	—	—	—	千メキシコペソ	千メキシコペソ						
						1,500	1,537	13,191	2.1	—	—	2.1	—
合 計	73.1	—	41.0	32.1	—	—	—	477,422	75.4	—	60.2	15.2	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ー印は組み入れなし。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

外国(外貨建)公社債銘柄別

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B	2.75	500	520	60,620	2023/11/15
	US TREASURY N/B	3.5	300	327	38,178	2039/2/15
小計		-	-	-	98,799	-
(カナダ)			千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA GOVERNMENT	2.75	100	106	11,002	2022/6/1
小計		-	-	-	11,002	-
(イギリス)			千英ポンド	千英ポンド		
国債証券	UK TREASURY	3.75	50	56	10,226	2020/9/7
	UK TREASURY	4.25	150	185	33,884	2036/3/7
小計		-	-	-	44,110	-
(ユーロ)			千ユーロ	千ユーロ		
(ドイツ)						
国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1.5	50	53	7,757	2024/5/15
	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	6.5	200	329	47,839	2027/7/4
(イタリア)						
国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	3.5	100	107	15,684	2017/11/1
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5	100	116	16,957	2020/2/1
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5	200	238	34,685	2024/3/1
	BUONI POLIENNALI DEL TES	5.0	50	62	9,056	2034/8/1
(フランス)						
国債証券	FRANCE (GOVT OF)	2.25	100	110	16,106	2024/5/25
	FRANCE GOVERNMENT O. A. T	3.25	100	122	17,799	2045/5/25
(スペイン)						
国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.1	200	223	32,514	2018/7/30
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.75	100	107	15,652	2019/4/30
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.75	150	158	23,051	2024/10/31
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.15	50	64	9,410	2044/10/31
(ベルギー)						
国債証券	BELGIUM KINGDOM	4.25	200	250	36,379	2021/9/28
	BELGIUM KINGDOM	3.0	50	58	8,515	2034/6/22
小計		-	-	-	291,408	-
(シンガポール)			千シンガポールドル	千シンガポールドル		
国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	2.5	200	210	18,910	2019/6/1
小計		-	-	-	18,910	-
(メキシコ)			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	5.0	1,500	1,537	13,191	2017/6/15
小計		-	-	-	13,191	-
合計		-	-	-	477,422	-

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(3)先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	期首評価額		当期末評価額	
	買建額	売建額	買建額	売建額
外国	百万円	百万円	百万円	百万円
債券先物取引				
TNOTE(2YEAR)	—	—	—	127
B U N D S	19	—	—	—
T B O N D	13	—	—	—
TNOTE(10YEAR)	76	—	—	—

*単位未満は切り捨て。

*邦貨換算金額は、期首、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*—印は組み入れなし。

◎投資信託財産の構成

(2014年11月18日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	584,327	87.4
コール・ローン等、その他	83,900	12.6
投資信託財産総額	668,227	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(501,579千円)の投資信託財産総額(668,227千円)に対する比率は75.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=116.57円、1カナダドル=103.25円、1英ポンド=182.35円、1ユーロ=145.25円、1シンガポールドル=89.87円、1メキシコペソ=8.58円。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年11月18日)現在

項目	当期末
	円
(A)資産	1,010,732,361
コール・ローン等	35,783,598
公社債(評価額)	584,327,970
未収入金	381,712,638
未収利息	4,064,294
前払費用	514,194
差入委託証拠金	4,329,667
(B)負債	377,490,319
未払金	374,590,319
未払解約金	2,900,000
(C)純資産総額(A-B)	633,242,042
元本	408,853,159
次期繰越損益金	224,388,883
(D)受益権総口数	408,853,159口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,488円

◎損益の状況

(自 2013年11月19日 至 2014年11月18日)

項目	当期
	円
(A)配当等収益	17,114,129
受取利息	17,114,129
(B)有価証券売買損益	85,917,487
売買益	115,253,250
売買損	△ 29,335,763
(C)先物取引等取引損益	△ 1,167,893
取引損益	712,761
取引損	△ 1,880,654
(D)信託報酬等	△ 210,772
(E)当期損益金(A+B+C+D)	101,652,951
(F)前期繰越損益金	123,202,348
(G)追加信託差損益金	2,300,240
(H)解約差損益金	△ 2,766,656
(I)計(E+F+G+H)	224,388,883
次期繰越損益金(I)	224,388,883

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注)期首元本額408百万円、期中追加設定元本額5百万円、期中一部解約元本額5百万円、計算口数当たり純資産額15,488円。

(注)当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額、野村世界高格付債券投信(年2回決算型)113百万円、世界高格付債券投信S(適格機関投資家専用)294百万円。